

わくわく倶楽部 祇園祭研究会 祇園祭見学-2 (25.7.19)

「松取式」

集合日時： 7月19日(土) 12時45分集合

集合場所： 新町通 蛸薬師通と六角通の間

参加者： 11名(内 わくわく倶楽部部外者 都草会員1名)

北観音山と南観音山に建てる松を選ぶ儀式を見学しました。

午後1時

2本の松を載せた鳴滝の造園業「洪水家」のトラックが、三井ガーデンホテル新町別邸前通りに横付けされました。



両方の山の紋付姿の役員が集まってきます。

くじ取り式の始まりです。

まず ジャンケンをして、勝った方が、先にくじをひきます。

今年のジャンケンでは、北観音山が勝ちました。



洪水家の方が、2本のわらをにぎっておられ、1本の方だけに結び目があります。これがくじです。結び目がある方が勝ちを示します。北観音山が引いたわらには、結び目がありませんでした。

南観音山が勝ちとなり、松を選ぶ権利が与えられました。
勝った方が「良い松を選べた。」負けた方が「良い松を残してもらった。」と言いつつ、慣例になっているそうですが、私の位置からは確認できませんでした。
北観音山用の松が降ろされ、トラックは、南観音山の方に向かいました。
ここまでが、松取式の様子です。
当日は、熱中症警戒アラートが発令されており、安全を鑑み、わくわく倶楽部の活動はここまでで、その後の見学は個人の判断に委ねられました。

その後の様子

選ばれた松は、真松になるための加工が始められました。
ほどよい長さになるように根元が切られ、真木と繋ぐための接合部分が斜めにカットされました。
その際には、松が立ち上がった時の枝の見栄えを見極めながら向きを調節し、その向きが変わらないように固定させて作業を進めておられました。



写真の手前が松 奥が真木



今回の北観音山の松は、幹が細かったため、苦労されていたようでした。

松を処理している最中に、櫓【やぐら】の方では、縄がらみの作業が並行して行われておりました。



北観音山では、松に鳥（尾長）が取り付けられます。
祇園研の八木澤理事が、北観音山の作事方の手伝いされており、その関係から取り付ける前の鳥をしっかりと見ることができました。



北観音山では、松を建てる前に鳥を取り付けます。
南観音山では、松建てを終え屋根が取り付けられてから松に登って鳥（白鳩）が、取り付けられます。
北観音山は、16 時前に松建てが行われました。



松建てに参加した部員も数人おりましたが、熱中症にかかることなく無事に見学できました。

松は、樹齢 30 年ぐらい高さ 20m ぐらいの赤松を選ぶそうですが、幹がまっすぐで枝ぶりがいいものを選ばなければいけないので、ふさわしい松を探し出すのは、年々困難になっているそうです。

報告：植村多賀子

写真：小松香織、八木澤哲雄、植村多賀子、熊谷喜輝